

第48回滋賀県公立小中学校事務研究大会オリエンテーション

このオリエンテーションの内容を参考に、二次元コードから県外参加者申込フォームで申し込んでください。なお、会場の都合により、参加分科会を変更していただくことがありますので、ご了承ください。みなさまのご参加をお待ちしております。



全体会

チームとしての一歩

業務改善の取組報告および講演

湖北ブロック実行委員会

私たち、彦根市、米原市、長浜市がチームとして取り組んできた業務改善について報告します。職場では、単数配置が多く、一人でできる仕事には限りがあります。しかし、チームで取り組めば、同じ一つの達成目標を持ち分担・協力して業務を行えます。メンバー同士の業務を効果的に掛け合わせることで、効率や成果を何倍にもすることができます。私たちは、チームで作った成果物を活用して、仕事の業務改善を図ることができました。チームの存在自体が大きな財産かもしれませぬ。そんな私たちの発表を聞いてください。

最後に、鳴門教育大学教職大学院 教授の久我直人先生より講評をいただき、これからの私たちが歩むべき課題を見つけ出したいと思います。ひとりではなく、みんなで一歩を歩みませんか。

第1分科会

やってよかった Y・Y (わい・わい) プロジェクト

～ブースセッションでみんなの考え・思いを議論し、効力感を高め、共に歩みましょう～

大津市公立小中学校事務研究協議会

大津市公立小中学校事務研究協議会（さざなみ会）は、研究テーマを「学校運営と教育活動の向上・支援に繋げる学校事務職員を目指して」と題して、研究活動を行ってきました。研究テーマを踏まえ、事務職員間、県・市教委等、各関係機関との相互の協力や交流を深め、「効力感を高める連携を推進する」ことを基本方針に掲げ、夏季・冬季研修講座の実施を活動の柱とし、部会員の資質向上を図ってきました。

本分科会においては、ブースセッション形式で実践事例等に触れながら、参加者の皆さまと議論を行うことを通じ、「やってよかった」と感じ、ともに効力感を高め、これからの一歩を踏み出したいと考えます。

新しい価値と可能性を追求する大津の教育をともに考えてみませんか。多くの御参加をお待ちしております。

第2分科会

『た・か・し・ま Shin 化論』 Part III

～事務職員の新たな役割と地域協働参画へのステップ～

高島市小中学校事務研究会

標準的職務内容の通知！！

近年の標準的職務内容に係る通知、学校教育法一部改正における事務職員の職務内容の明確化などを受けて、高島市の学校事務職員にも学校事務を「つかさどる」ことに対して変革の波が押し寄せました。「何かが変わる！変わらなければ！変えていける！」という思いが巡り、学校事務という仕事へのモチベーションが高まりました。一方で、増え続けるルーティンワーク、積もる責任への重圧感、職務内容が明確化されても理想と現実とのギャップは埋められないことへの焦燥…。

待っていても何も変わらない！！

本研究会では高島市の標準的職務内容通知をもとに、学校教育活動の中で学校事務職員は「子どもたちのために、学校のために、事務職員として何ができるのか？」を考え、年次的に研究を推進してきました。分科会では、全体会講師の久我直人先生とともに共同実施・地域協働・危機管理における事務職員の関わりを切り口に「学校運営参画」について、みんなで答えを探っていきます。

第3分科会

『次世代の豊かな未来のために 踏みだそう 覚悟の一步を！』

－ キーワードは「マネジメント」「地域協働」「共同実施（共同学校事務室）」－』

滋賀県公立小中学校事務研究協議会 役員会

滋賀県公立小中学校事務研究協議会は、昨年度の全事研 50 周年記念研究大会（千葉大会）で『学校組織の「機能」から見た事務職員の役割』をテーマに、また、第 51 回全事研研究大会（岡山大会）では『次世代の豊かな未来のために 踏みだそう 覚悟の一步を！－ キーワードは「マネジメント」「地域協働」「共同実施（共同学校事務室）」－』をテーマに分科会を運営しました。

今回の分科会では、上記の 2 つの大会で示した三つの観点「マネジメント・地域協働・共同実施（共同学校事務室）」から実践事例を紹介し、具体的な取り組みへアプローチしていきたいと考えています。

標準的職務内容や共同学校事務室設置に係る県教育委員会通知、また、学校教育法の一部改正による職務規定の変更など、事務職員をとりまく状況が大きく変化するなかで、今までの学校事務観からの脱却が必要なのではないか、つかさどる職として期待される事務職員に近づくことが必要なのではないか、どのように学校経営に参画していくか、ということについてみなさんと議論を進めていきましょう！